



活用効果評価一覧

登録番号:HR-030035-V

新技術名称:グレーチングストッパー

評価回数	活用効果評価ファイル	更新日
1 回目	内容確認	2012/11/13

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開発しております。

[プライバシーポリ](#)[シー / 著作権等について](#)

Copyright 2004, New Technology Information System.All Rights Reserved..

活用効果評価結果

平成24年度

北海道開発局 新技術活用評価委員会

開発目標	経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上、省資源・省エネルギー、その他(維持管理の施工性向上)		
新技術登録番号	HR-030035-A	区分	製品
分類	付属施設 - 道路付属物工		
新技術名	グレーチングストッパー		
比較する従来技術(従来工法)	4点ボルト固定式		
新技術の概要及び特徴	<p>※新技術の概要および特徴はNETIS情報を抜粋、要約したものである。 グレーチング跳ね上がり防止金具の製品である。 既設の道路側溝や街渠柵に掛かるグレーチングを加工することなく、製品(専用金具)を取り付けるだけで跳ね上がりや集中豪雨などによる浮き上がりを原因とする事故の防止や管理・施設瑕疵の対策として有効である。既設のグレーチングをそのまま利用可能なため、コスト削減や廃材の発生が抑制され、短時間の設置作業により交通規制時間の短縮や維持管理作業が向上される製品である。</p>		
活用効果評価	所見	<p>※所見は活用調査結果に基づくものである。 ・コンクリートのはつり・打設、受枠の交換などが不要となるだけでなく、既設グレーチングを再利用できるため経済性の向上に貢献できる技術である。 ・設置作業や取外しが短時間で可能であり、はつり作業やコンクリート打設作業がないため、工期短縮に貢献できる技術である。 ・型枠工がなく、取付け取外しが容易で、熟練度が必要ないため、施工性の向上に貢献できる技術である。</p>	
	留意事項	<p>※留意事項は活用調査結果に基づくものである。 ・既設グレーチング蓋を加工せずに設置するため、構造上グレーチング蓋上部に小さな突起ができることに留意する必要がある。 ・既設グレーチングの変形、錆、損傷などがあると使用できないため、事前調査で確認をする必要がある。</p>	

活用効果調査結果	対象工事	1	2	3	4	5	項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較		
	ケース番号及び年度	1	2	3	4	5	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)	
	項目	別紙参照							<p>経済性 環境 施工性 安全性 工程 品質・出来形</p> <p>— 新技術 — 従来技術 (従来工法)</p>
	経済性	別紙参照							
	工程	別紙参照							
	品質・出来形	別紙参照							
	安全性	別紙参照							
	施工性	別紙参照							
	環境	別紙参照							
	その他	別紙参照							
施工時評価点									
追跡調査									
総合評価点									

項目	評価結果	補足	
		内容	判定区分
成立性	技術として成立している	技術における機能、品質、性能などを試験や理論的なもの等での確認・証明の有無	技術として成立している 技術として成立していない
優位性	従来技術より優れる	従来技術に対して優れている度合い	A 従来技術より極めて優れる B 従来技術より優れる C 従来技術と同等 D 従来技術より劣る
安定性	高い安定性を有す	各評価項目の判定結果による総合評価	高い安定性を有す 安定性に問題がない 安定性が確認されない
現場適用性	広い	技術の優位性が高いものの件数の多寡	広い 特に広いとまでいえない - (評価基準に満たない)
区分	従来技術に比べて活用の効果は優れている。また、活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている。(設計比較対象技術)	-	-
追跡調査の必要性		-	-
追跡調査			

活用効果評価結果（別紙）

平成24年度

北海道開発局 新技術活用評価委員会

活用効果 調査結果	項目 <small>ケース番号 及び年度</small>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		H18	H18	H19	H20	H20	H21	H23													
	経済性	A	A	A	B	A	B	A													
	工程	A	A	B	A	C	B	A													
	品質・出来形	C	B	B	B	C	C	C													
	安全性	B	B	C	C	C	C	C													
	施工性	B	B	B	B	B	B	B													
	環境	B	B	C	B	C	C	C													
	その他	—	—	—	—	—	—	—													
	施工時評価点	B	B	B	B	B	B	B													
	追跡調査																				
	総合評価点	B	B	B	B	B	B	B													
		経済性	工程	品質・出来形	安全性	施工性	環境	その他	施工時 評価点	追跡調査	総合評価点										
	項目の平均	A	A	C	C	B	C	—	B	—	B										
	従来技術 (従来工法)	C	C	C	C	C	C	—	—	—	—										
対象工事	1	維持工事 「九州」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H18			
	2	道路維持補修工事 「九州」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H18			
	3	舗装修繕工事 「九州」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H19			
	4	舗装修繕工事 「九州」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H20			
	5	道路舗装工事 「中国」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H20			
	6	工事用道路整備工事 「九州」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H21			
	7	舗装工事 「東北」															(従来技術) 4点ボルト固定式	H23			
	8																				
	9																				
	10																				
	11																				
	12																				
	13																				